

本年下半年は、党员・支持者の皆様はしめ絶大なる御支援と賜り、都議選・衆院選ともに公明党は連続勝利させていくべくと共に、全力で働き抜くことができました。表いより厚く御礼申し上げます。

目下最重要課題は、国難ともいへばコロナ禍の克服と希望あるポストコロナ社会の建設であり、その原動力は現場の皆様のお声です。

私自身、これまで行動第一で現場のお声に寄り添い、国・県・市町村の公明党のネットワークの力で、お役に立てるよう、来る年も全力で走り抜いて参ります。

本号は通常国会終了以降に取り組んできた活動を中心に御紹介しています。なお、日々の活動は各種SNSでも積極的に発信しております。

ぜひフォローいただければ幸いです。今後とも変わらぬ御指導、御支援と賜りますよう、心からお願ひ申し上げます。

2021年12月 参議院議員 高橋光男

Profile

公明党国際局長・同兵庫県本部青年局長。参議院外交防衛委員会理事・同政府開発援助特別委員会理事。防炎士。

1977年、兵庫県宝塚市生まれ。阪神淡路大震災を経験。大阪外大（現大阪大）英語科在学中に外交官試験に合格し中退。外交官として、在ブラジル日本大使館一等書記官等歴任。ポルトガル語通訳官として首脳外交も担う。子育て世代、二児の父親。

2019年7月、第25回参議院通常選挙兵庫選挙区初当選。2021年3月、中央大学法学部卒業。（2021年12月現在）座右の銘「建設は死闘、破壊は一瞬」



SDGsとは・・・

Sustainable Development Goals (持続可能な開発目標)の略称。2015年9月の国連サミットで採択されたもので、日本を含む国連加盟193か国が2016年から2030年の15年間で達成するために掲げた国際社会共通の目標。17のゴール・169のターゲットから構成され、貧困や飢餓といった問題から、働きがいや経済成長、気候変動に至るまで、21世紀の世界が抱える課題を包括的に挙げている。



伊藤たかえ
参議院兵庫選挙区第1総支部長



初当選から5年半。皆様のご期待にお応えしたいとの思いで、無我夢中で走り抜いてまいりました。

コロナ禍の今、感染拡大防止、経済回復、生活再建への更なる対策が必須です。

今、何が求められているのか。社会の変化に敏感に、そして、皆様の声を力に、誰もが幸せを実感できる未来を拓くため、全力で働いてまいります。

プロフィール	党役職	参議院
弁護士 税理士 大阪弁護士会人権擁護委員会元副委員長 関西大学法学部卒 兵庫県出身	女性委員会副委員長 兵庫県本部副代表 参議院兵庫選挙区第1総支部長	国土交通委員会 地方創生及び消費者問題に関する特別委員会 憲法審査会

WEBサイト(ブログ更新中) もっと詳しく! 最新情報を発信しています!

伊藤 たかえ 検索 ito-takae.com

Facebook @ito_takae Twitter LINE 友だち追加はこちら!

「伊藤たかえ公式ホームページ」にて詳しい情報をご覧ください。

都議選・衆院選・県内統一外選への御礼

本年の政治決戦である都議選、衆院選では党员・支持者の皆様のご支援を賜り大勝利することができました。下半期実施分も含め、本年兵庫県内で行われた統一外地方選挙(8市5町)も完勝することができました。心から御礼申し上げますと共に、ご恩返しのために一層邁進してまいります。

Bridge the Future は「未来をつなぐ」という意味です。国と国、人と人に橋を架け、希望の未来をつなぐ。高橋の「橋=Bridge」と、みつおの「M」を組み合わせた決意を表したロゴです。

発行: 公明党参議院兵庫選挙区第2総支部

兵庫事務所 〒650-0015 兵庫県神戸市中央区多聞通3-3-16 甲南第1ビル 1102号室
TEL: 078-367-6755 FAX: 078-367-6756

国会事務所 〒100-8962 東京都千代田区永田町2-1-1 参議院議員会館 614号室
TEL: 03-6550-0614 FAX: 03-6551-0614



伊藤たかえ参院議員他と家島諸島(姫路市)を訪問(11月)

参議院議員
高橋みつお 通信 Vol.5

WEBサイト 高橋みつお もっと詳しく!

<https://takahashi-mitsuo.com/>

最新情報を発信しています! ぜひご覧ください

Facebook Instagram Twitter LINE 友達追加はこちら!



コロナ禍の克服へ 現場の声で国を動かす!



西宮市のコロナ外来患者受入病院訪問(9/11)

参院議運委にて緊急事態宣言期間延長・区域変更(6/17、8/17)、同宣言解除(9/28)と節目の機会に登壇し、現場のお声を受けて政府に対し必要な病床確保、ワクチン接種推進、第六波に備えた医療提供体制構築などを全力で求めました。ワクチン接種に関しては、合理的配慮が必要な自閉症・重度知的障がい者など多様な方々を考慮した誰一人取り残さない接種の推進を要望。

同時に、公明党が導入を進めた健康被害救済制度に関し、国の第一回専門審査会開催につながる答弁を引き出し、全国初の適用(29件)が認められました。治療法については、抗体カクテル療法やネーザルハイフロー療法(高流量鼻カニュラ酸素療法)の提供体制強化を求め、着実に進展させることができました。



気候変動対策を進め 防災・減災を社会の主流に!

地球温暖化の影響により自然災害が激甚化・頻発化しています。CO2排出量の多くを占める発電所、製油・製鉄所等が集積する港湾の脱炭素化は重要な課題。カーボン・ニュートラルポート整備を強く求め、政府の骨太方針に反映させることができました。

一方、防災・減災を社会の主流にする努力を惜しんではなりません。命を守るインフラ整備やソフト対策も大変重要な課題です。例えば、防災重点ため池の整備(4/27 農林水産委員会)に向けた予算確保などを推し進めました。

防災・減災・国土強靱化への必要な財政措置を含め、ふるさと兵庫、そして日本の安心安全な社会を建設するために、引き続き全力を尽くしてまいります。



大雨被災現場に急行(7/10、宍粟市)



兵庫県災害医療センター視察(10/11)



留学予定者への コロナワクチン優先接種

「厚かましいお願いですが」。5月初頭、そう断りつつ、この秋に留学予定の学生から SNS を通じコロナワクチン接種希望の声が寄せられました。当時はまだ高齢者接種がようやく本格化し始めた頃。しかし、若者でも中長期の海外渡航者は別だと考え、萩生田大臣(当時)に直接要望。優先接種を実現すると共に、国会質疑を通じて要件緩和も実現しました。



防災士の資格取得

11月、防災士の資格を取得。これは阪神淡路大震災の教訓から「人」を中心として地域の防災力を高めるために生まれた資格制度です。心肺蘇生法やAEDの使用方法など実践的な技術も学びました。平時・緊急時ともにお役に立てる存在になれるよう一層精進してまいります。



ポストコロナを希望の社会へ 豊かな未来を拓くために全力!

今年は夏以降、全国そして兵庫各地を訪問。コロナ禍により大打撃を受けた観光業・飲食業、需要減少の影響を受けた農林水産業の皆様など、地元の様々な事業者から現場のお声を伺い、国政に届けてまいりました。その中で、例えば新たなクルーズ船の就航など、事業再構築に向けた新たな取組を後押しさせて頂くとともに、ポストコロナを見据えた兵庫の魅力の発信などを積極的に実践しました。

若者の力あればこそ、豊かな未来を創ることが出来ます。公明党兵庫県本部青年局長、そして今般新たに任命された党学生局長代理として、ユーストークミーティングをはじめとする青年との対話を重ね、未来に希望がもてる政策実現に一層邁進してまいります。



明石海峡クルーズ就航式典(7/16)



米の需給及び価格の安定対策に係る緊急要望(10/7)



外交経験を活かし 平和国家・日本の責任ある外交を推進!



出入国在留管理庁長官に緊急要望(9/30)



参院議運委での菅前総理答弁(9/28)

アフガニスタンでは8月、タリバンの政権奪取により人権状況が急激に悪化。邦人緊急避難とともに、アフガニスタン人関係者の日本への避難についても緊急要望(9/30)。

コロナ対策では岸田新政権でも途上国へのワクチン等の支援継続を求め、6月のワクチンサミットで日本が表明した8億ドル全額が補正予算で手当てされることになりました。

保健分野への国際協力を強化することが、人間の安全保障を基本とするSDGsの推進に不可欠であり、日本のリーダーシップをさらに求めます。12月の臨時国会から参院外交防衛委員会及び政府開発援助特別委員会理事を拝命。これまでの外交経験を活かし、国際社会の諸課題の改善・克服に全力で取り組んでまいります。